区分

基本目標

基本事業

施

策

整理番号

事務事業名

総合計画体系 前期基本計

画

平成20年度実績事務事業評価シート

安全・安心な環境のまちづくり

|阿武隈川左岸築堤促進事業

都市基盤の形成

治山・治水対策の推進

単年度 単年度繰返し

コード

8

2

事業種別

/ A	٠	L	١
ιA	ソー	$\sim$	1

コード

8

3

1

1

般

区分

会計

款

項

目

細目

細々目 枝番号

事務事業の

根拠法令等

作成日: 平成21年7月1日 事業態様 新規 称 名 一般会計 土木費 河川費 河川総務費 河川管理事業 阿武隈川水系河川整備計画 無 期間限定複数年度 20 年度 ~ 年度 )

事業概要

事業期間

国土交通省の施行する阿武隈川本宮左岸地区築堤事業の円滑な推進を図るため、地権者、関係地区住民、関係各機関 (国、県、市) との調整等を行う。

計画等での 位置付け

総合計画 前期基本計画主要事業 担当部課等 産業建設部 阿武隈川左岸築堤対策室 ✓ 自主的財政健全化計画 基本計画・構想・新規事業 記入者 八木一志 担当係 業務係 ✓ 平成20年度重点事業 一次評価者 (課長等名) 渡辺正彦

### 1 行動方針 (PLAN)

	1134/15 (1 1111)									
事業目的	対象 (誰を、何を)	地権者、関係地区住民、国土交通省、県、市の関係各課								
	意図→目指す成果			区分	指標名		単位			
	(対象をどのよう な状態にしたいの か)	①用地取得の推進 ②関係地区住民の事業に対する理解協力 ③阿武隈川本宮左岸地区築堤事業の促進	<b>₽</b>	成果 指標	1	用地取得面積	m²			
					2	用地補償件数	件			
	e cn.	意見を聴く会等の開催→要望事項等協議・関係機関との調整等→測量等立会→代替地等の情報収集→用地協議同行→ 相談等の受付・代替地等の情報提供→契約締結→事業用地 の取得完了→工事		区分		指標名	単位			
	F段 (事業の具体的な			活動	1	用地協議回数	□			
F	內容、手順等)			指標	2	関係機関等との協議回数	□			

#### 2 実施 (DO)

○ 古米串 1. 財活の批算

年度	平成20年度(注	决算)	平成21年度(	決算)	平成22年度(決算)		
区分	経費	金額	経費	金額	経費	金額	
		(千円)		(千円)		(千円)	
直接事業費							
	①事業費計	0	①事業費計		①事業費計		
人件費	②人数(年)	0. 20	②人数(年)		<b>&amp;</b> 人数 (年)		
	③平均人件費		③平均人件費		③平均人件費		
	$4 = 2 \times 3$		$4=2\times3$		4=2×3		
総事業費 ①+④		1, 722					
	国庫支出金						
	県支出金					<b></b>	
財源内訳	使用料及び手数料						
	地方債						
	その他	***************************************					
	一般財源	1,722					

### ○事務事業の実績

	指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
活動指標	① 用地協議回数	回	0			
伯刬徂悰	② 関係機関等との協議回数	回	13			

## 本宮市行政評価システム

○事務事業の成果

		指標名	単位 平成20年度 (実績)		平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
成果指標	1	用地取得面積	m²	0			
以木钼棕	2	用地補償件数	件	0			

# 3 評価 (CHECK)

【1次評価】								
		項目		区 分		選択理由の説明	項目評価	
目的妥	1	意図が政策・施策体 びついているか?	系と結	<ul><li> 結びつかない</li><li>✓ 結びついている</li></ul>	施策の基本事業である。 〒う必要がある 国の事業ではあるが、早期実		<ul><li>✓ 適切</li><li>✓ やや不適切</li></ul>	
当性	2	市が行うべき (関与き)事業か?	iすべ	<ul><li>✓ 行う必要がある</li><li>✓ 行う必要がない</li></ul>			一 不適切	
有効性	1	目的を達成するための手具 (実施方法)は有効か? 成果指標の目標値の達成り 況は?		<ul><li>✓ 有効である</li><li>□ やや有効でない</li><li>□ 有効でない</li></ul>	$\Diamond$	関係機関との調整並びに、地域住民との懇談会を 重ね、事業の推進が図られた。	✓ 適切 ☐ やや不適切 ☐ 不適切	
	2			<ul><li>✓ 順調である</li><li>○ やや順調でない</li><li>─ 順調でない</li></ul>	$\Rightarrow$	H21年度より用地協議にはいることができるようになった。		
効率	1	投入した事業費又は 見合った効果は得ら るか?		<ul><li>✓ 得られている</li><li>○ やや得られていない</li><li>○ 得られていない</li></ul>	$\Diamond$	必要最低限の費用により、事業の推進が図られ た。	✓ 適切	
性	2	効率的な方法で実施されて いるか?		<ul><li>✓ 実施されている</li><li>○ やや実施されていない</li><li>○ 実施されていない</li></ul>	⇔	最小限の人員により事務処理を行った。		
公平性	1	受益者の負担が適正 定の個人や団体に偏 ないか?		<ul><li>✓ 馴染まない</li><li>│ 適正である</li><li>○ やや適正でない</li><li>│ 適正でない</li></ul>	$\Diamond$	河川の公共性により、特定の受益者はいない。	<ul><li>■ 適切</li><li>□ やや不適切</li><li>□ 不適切</li></ul>	
【2次評価】								
	全体評価 意 見							
	□ 適切   □ やや不適切   □ 不適切							

## 4 評価による行動 (ACTION)

		【1次評価】	【2次評価】		
	今後の方向性	方向性に対する取り組み (課題と解決方法等)	今後の方向性	方向性に対する取り組み (方針の指示)	
20年度	<ul><li>☑ 拡大・重点化</li><li>□ 手段等の見直し</li><li>□ 現状継続</li><li>□ 廃止・休止</li><li>□ 完了・終了</li></ul>	早期実現に向け体制の強化を図る。	<ul><li>拡大・重点化</li><li>手段等の見直し</li><li>現状継続</li><li>廃止・休止</li><li>完了・終了</li></ul>		
/ 19年度	拡大・重点化		放大・重点化   手段等の見直   現状継続   廃止・休止   完了・終了		
18年度	拡大・重点化		放大・重点化   手段等の見直   現状継続   廃止・休止   完了・終了		